

発行責任者
小林孝栄(昭29電)



都島だより
KANTO NANIWA KOGYOKAI
NEWS
6 関東浪速工業会
会報

投稿送り先
竹村繁幸(昭36電)
流山市東深井84-102
〒270-01 TEL.0471-55-2293

関東浪速工業会の近況から

(昭29 電卒) 小林 孝栄

近年の各企業の東京本社化の関係からか、関東浪速工業会の会員数も五百三十五名と多数を数える様になっている。

この内毎年、年末に実施している「総会、懇親会」への出席している会員数は約六十名前後と約10%である。この数を多くと判断するか、少ないと判断するかはむづかしい事であるが、ここで私はあえて多数の出席を呼びかけたい。

私はここ3年前から年4回前後行なっている幹事会に出席する機会を得、そこで感じた事は各科の少数の先輩が「関東浪速工業会」を盛り上げるべく、各人本来の仕事のあい間をぬってボランティア精神で努力をされている事を会員の皆様にお知らせしたい。

関東浪速工業会の年間の事業計画としては春の有志によるゴルフの会、夏には納涼船の会、又時期に合わせての温泉旅行、見学会、これらは総会とは別に実施している。又昨年は手拭展とユニークな会を催し活発な活動を進めている。

これらの会を実施するには前後数回の幹事会を開催し準備するのであるが、各科の幹事の努力が大変である。

ここに会員の皆様にお知らせし、お願いしたいのですが、この幹事会を盛りあげ引張っている先輩は戦前と云う言葉は適切でないかも知れませんが戦前戦中に卒業された方が中心です。今後催会には各人積極的に出席願ひ、会を盛り上げると共に伝統ある関東浪速工業会を今後につなげて行きたいと思ひます。

私も昭和29年に卒業して早や38年を過ぎようとしています。まだまだ若いつもりですが、私より先輩の方が幹事会で熱心に議論されているのを見るにつけ先輩の方が若いなあと感じます。この事は先輩の方が会の事を思う心がより強いのでは!! 又横のコミュニケーションが強いのでは。

これは私の個人的な感じですが私も含め、先頭に立って積極的に進める事が出来ないのは仕事中心で会の事を思う心はあるが時間的に余裕が取れない事が一つ、後輩の東京への転勤者が近年少ない事が原因なのだろうか。出来る限り積極的に「会合」「催会」に参加し、関東浪速工業会を盛り上げようではありませんか。

終りに本年の事業予定を幹事会で決めましたのでお知らせします。すでに温泉旅行、HNK放送局見学と実施し、8月には納涼船、秋にはゴルフを予定したいと思っています。年末11月20日には総会を予定しております。会員の皆様の積極的な参加を期待致します。

以上

ジャカルタ雑感

(昭41 機卒) 川本 正治

昨年十一月、インドネシア(今回はジャカルタと云った方が正確ですが)へ、二十年振りに行く機会を得た。

ジャカルタに到着した時、前回の事が昨日の様に思い浮かんで来たので二十年の歳月の変化を感想として述べたい。(私よりインドネシアの事を詳しく御存知の先輩諸氏がいらっしゃるかも知れませんが、あくまでも私が短期間に感じた事、又、一

面的にしか見れなかったこととして誤りはお許しいただきたいと思ひます。)

二十年前といえば、私が都工を卒業して、まだ五年目で、技術的には全く未熟であり、しかも、言葉もほとんど話せない状態で行くこととなった。不安で都工三年間に鍛えられた体力でもって、三ヶ月滞在し、貴重な経験を待た。

当時のインドネシアは商工業は未発達であり、ジャカルタの町並も雑然とし、夜は暗く、多くの定住、定職を持たない人々が町に溢れていた。又、いつ壊れてもおかしくない車が走り、経済的には乏しかったように見えた。しかし、一方、多くの人々は明るく、素朴で、人なつこく、しかも、活気があり、ひたむきに生活していた様に思えた。

二十年振りのジャカルタは、大きなビル群が建ち並び、町並が整理(ビルの裏側に回れば赤い色の屋根の南国特有の古い道並は存在しているが)され、道路には新しい自国産の車が所狭しと走り回り、大きな変貌をとげ、確実に経済成長が進んでいた。又、東京と同様、夜の繁華街にはネオンがきらめき、いたるところに、カラオケ・バーができていた。

一方、人々の生活は、商工業の発展で定職を得ている人が増え、豊かになっていった。しかも、二十年前に感じた、人々の素朴さ、明るさは、私の出会った人達には残されており、安心した。いつまでもこの良さを保ちつつインドネシアが発展していくことを望みたい。

今度は二十年後、妻とともにこの地を訪問し、本文に書きえなかつた数多くの、インドネシ

アの良さを話してあげたい。サンバイ・ジュンパ・ラギインドネシア(いつの日か、インドネシアで)。

恩師「土屋先生」を偲んで

(昭36 電卒) 馬江 治喜

都工を卒業して30年余が過ぎました。今迄何回か関東浪速工業会の会合に出席している内に同クラスの石垣君、竹村君と久しぶりに昨年の暮に新宿で忘年会を行いました。お互いにいろいろな話を楽しくしました。その会話の中で竹村君より一度恩師「土屋先生」を東京に御招待して我々の学生時代の事、又先生の近況を聞こうと話がまとまりました。それで各分担任を決め、石垣君に宿泊場所を探してもらい、竹村君には企画を、小生は雑用と仕事を決め土屋先生に連絡すると来ていただけの事、それで3月21日、22日に行う事になりました。宿泊は鎌倉に決まり先生には、ひかりのグリーン車の2階席に乗っていただきました。3月21日夕方新横浜駅へお向かえに行きました。先生は今年7月で満70才になられるとの事ですが、顔色も良く体も別に悪い所がなく全くお元気な姿を拝し本當にうれしく思いました。その夜は酒を飲みながら座車を4人で囲んで各自現状を報告して学生時代の事、級友の事等を楽しく夜遅くまで話をしました。本當に楽しい一刻でありました。この様な会合が出来た事を深く感謝いたします。翌日は天気も良くなりタクシーを貸し切って鎌倉市内の名所旧跡をまわりました。我々も東京に居ながら鎌倉の知らない所が多い事にびっくりしました。昼

あらゆるフィールドで活躍する
シリカ製品の総合メーカー

(アメリカW.R.G.社との合弁会社)



除湿についての
御相談に応じます。

富士デヴィソン化学株式会社

東京都中央区日本橋2-2-2 共同ビル 4階 〒103

☎(03) 3275-1621(代) FAX (03) 3275-1624 柴田孝次(♠34年卒)

祈 関東浪速工業会の発展

建設ボーリング株式会社

代表取締役

M16 稲生正勝

(株) 精研 東京支店

03-5689-2351(代)

空調・給排水設備工事

地盤凍結工事

E13 富田 輝男 M43 石川 芳夫

E16 戸部 暢 E43 田中 己晴

E28 橋本 健治 E46 高倉 修

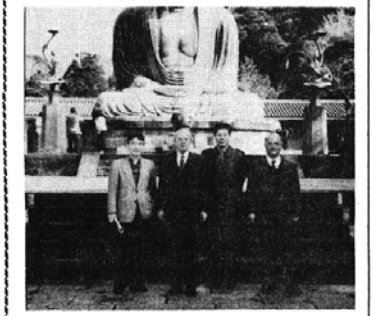
食は鎌倉の懐石料理を味わい、そろそろ帰りの時間になったので新横浜駅へ見送りに行きまし

関西弁

(昭20 機卒) 三枝 寿一

最近声をかけたり、かけられたりの機会があり、どうも関西弁による親しみからきたもので

- ①コトク 買った
②ウトク 歌った
③ミエヘン 見ない
④カケン 書けない
⑤オーキニ ありがとう
⑥ナンボ いくら



今でこそ堂々と関西弁が使われているが、私が九州から東京に転勤(昭和35年)した時には

関東青薔会(建築科だより)

関東浪速工業会総会時返信は

然し何故関西弁が其の当時毛嫌いだされたかは、大阪商人と云うイメージが強かった為で、後

- ⑦アンジヨ(一) ちゃんとな
⑧イチビル 調子にのって
⑨サラ 新しいもの
⑩エーシ 金持ち
⑪シブチン けち
⑫チリメンジャコ しらす
⑬イキマツカ 行きますか
⑭ソソバイ ぐすぐぐたい
⑮シンドイ 苦しい、疲れた
⑯エゲツナイ ひどい、いやなもの
⑰エライ (仕事などが)つらい、きびしい
⑱ホカス 捨てる
⑳タク 煮る

各科別報告会

(昭47 電卒) 松本 進

平成二・三年度と二年続けて総会、懇親会に出席させて頂き

平成3年度の事業計画

本年度もみなさんの協力を得ながら、下記のスケジュールを計画しています。

- 1月 幹事会
2月 NHK見学会、Mニュース発行
3月 幹事会
4月 偶田川納涼船
5月 幹事会
6月 幹事会
7月 幹事会
8月 偶田川納涼船
9月 幹事会
10月 幹事会
11月 平成4年度総会、Mニュース発行

納涼船のお知らせ

昨年、御好評を頂きました納涼船を今夏も計画してみました。

日時 8月22日(土)
18時頃出港
場所 偶田川、柳橋畔
コース 偶田川~お台場

尚、詳しくは7月に御案内いたします。

あとがき

私のような若輩者にとっては、まず同じ科の卒業という親近感から、先輩の方々とコミュニケーションをさせて頂ける第一歩

浪速工業会報

- ◇竣工 平成4年4月18日
◇同窓会記念ホールは「明都館」と命名(命名者は山田 漢校長)
◇クラブ室、外溝工事の第3期施設整備を残すのみ。
◇理工工学科が本年度より新設された。



デザインは生活原点を見つめる目から生まれるものと考えます。常に原点に立ち戻り、新しい世界を追求する。"Oからの創造"を旨とするデザイン集団です。
Oα
●CI, 商品企画, パッケージ・ディスプレイ・サイン等のデザイン
TEL 03-3403-2613
FAX 3405-0178
(株)オーディ 代表取締役社長 岡田宏三